

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



2022.6.27~7.3

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

23 ダビデの賛歌

23:1 【主】は私の羊飼い。私は乏しいことがありません。

23:2 主は私を緑の牧場に伏させいこいのみぎわに伴われます。

23:3 主は私のたましいを生き返らせ御名のゆえに私を義の道に導かれます。

23:4 たとえ死の陰の谷を歩むとしても私はわざわいを恐れませんが、あなたがともにおられますから、あなたのむちとあなたの杖それが私の慰めです。

23:5 私の敵をよそにあなたは私の前に食卓を整え頭に香油を注いでくださいます。私の杯はあふれています。

23:6 まことに私のいのちの日の限りいつくしみと恵みが私を追って来ましょう。私はいつまでも【主】の家に住みます。

ダビデは多くの試練があり、失敗もありました。苦難の連続で、何度も命の危険にさらされました。そのような中ではありますが、「私は乏しいことがありません。」と、主に全く信頼しています。いや、苦難の連続だからこそ、「主は私の羊飼い。」と、主のもとにいることの安心を体験したのでしょうか。

このように、私たちの信仰は平穩無事などときにしっかりするのではなく、試練の中でこそ成長します。それは、平穩なときに主に感謝するところから始まるものです。常に主の守りの中にあることを自覚していますと、そこから感謝が生まれ、また信頼が生まれ、さらには試練が来てあわてずに、信仰が強められるのです。

このダビデの信仰の告白のように、私たちも主への信頼をことばにしましょう。それを自分自身と、また他の人にも表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



### 24 ダビデの賛歌

24:1 地とそれに満ちているもの、世界とその中に住むものは主のものである。

24:2 まことに主は、海に地の基を据え、また、もろもろの川の上に、それを築き上げられた。

24:3 だれが、主の山に登りえようか。だれが、その聖なる所に立ちえようか。

24:4 手がきよく、心がきよらかな者、そのたましいをむなしいことに向けず、欺き誓わなかった人。

24:5 その人は主から祝福を受け、その救いの神から義を受ける。

24:6 これこそ、神を求める者の一族、あなたの御顔を慕い求める人々、ヤコブである。セラ

24:7 門よ。おまえたちのかしらを上げよ。永遠の戸よ。上がれ。栄光の王がはいって来られる。

24:8 栄光の王とは、だれか。強く、力ある主。戦いに力ある主。

24:9 門よ。おまえたちのかしらを上げよ。永遠の戸よ。上がれ。栄光の王がはいって来られる。

24:10 その栄光の王とはだれか。万軍の主。これぞ、栄光の王。セラ

主の臨在のしるしである契約の箱を迎え入れるときの歌と思われます。聖なる主を迎える前に、「だれが、その聖なる所に立ちえようか。」と問われ、私たちの心と行いが問われます。すなわち「手がきよく、心がきよらかな者、そのたましいをむなしいことに向けず、欺き誓わなかった人。」であること

が宣言され、聞く者は自分を省みるでしょう。

このように礼拝は主の臨在を迎えるものです。また祈りの場も同じであり。ティポーションもまた然りです。

神様のことがあまり感じられないという人もいるかもしれませんが、もしかしたらこのように主を迎えるという姿勢が不十分で、漠然と祈りまた礼拝に顔を出しているのかもしれませんが。

主を感じられるかどうかは、自分自身の主への姿勢によるのです。主の臨在をお迎えしましょう。「栄光の王」「万軍の主」をお迎えするにふさわしいあり方はどうすることか、最善を尽くして礼拝し祈りましょう。「その人は主から祝福を受け、その救いの神から義を受ける。」という約束です。

ただし、自分自身の罪に気づくこともあるでしょう。聖なる主をお迎えするにはふさわしくない自分に気づいたなら、そこには十字架の赦しときよめが備えられています。そのこと永遠の戸とはイエス様の十字架であると気づき、感謝するのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



### 25 ダビデによる

25:1 主よ。私のたましいは、あなたを仰いでいます。  
25:2 わが神。私は、あなたに信頼いたします。どうか私が恥を見ないようにしてください。私の敵が私に勝ち誇らないようにしてください。  
25:3 まことに、あなたを待ち望む者はだれも恥を見ません。ゆえもなく裏切る者は恥を見ます。  
25:4 主よ。あなたの道を私に知らせ、あなたの小道を私に教えてください。  
25:5 あなたの真理のうちに私を導き、私を教えてください。あなたこそ、私の救いの神、私は、あなたを一日中待ち望んでいるのです。  
25:6 主よ。あなたのあわれみと恵みを覚えていてください。それらはとこしえからあったのですから。  
25:7 私の若い時の罪やそむきを覚えていないでください。あなたの恵みによって、私を覚えていてください。主よ。あなたのいつくしみゆえに。  
25:8 主は、いつくしみ深く、正しくあられる。それゆえ、罪人に道を教えられる。  
25:9 主は貧しい者を公義に導き、貧しい者にご自身の道を教えられる。  
25:10 主の小道はみな恵みと、まことである。その契約とそのさとしを守る者には。  
25:11 主よ。御名のために、私の咎をお赦しください。大きな咎を。



25:12 主を恐れる人は、だれか。主はその人に選ぶべき道を教えられる。  
25:13 その人のたましいは、しあわせの中に住み、その子孫は地を受け継ごう。  
25:14 主はご自身を恐れる者と親しくされ、ご自身の契約を彼らにお知らせになる。  
25:15 私の目はいつも主に向かう。主が私の足を綱から引き出してくださるから。  
25:16 私に御顔を向け、私をあわれんでください。私はただひとりで、悩んでいます。  
25:17 私の心の苦しみが大きくなりました。どうか、苦悩のうちから私を引き出してください。  
25:18 私の悩みと労苦を見て、私のすべての罪を赦してください。  
25:19 私の敵がどんなに多いかを見てください。彼らは暴虐な憎しみで、私を憎んでいます。  
25:20 私のたましいを守り、私を救い出してください。私が恥を見ないようにしてください。私はあなたに身を避けています。  
25:21 誠実と正しさが私を保ちますように。私はあなたを待ち望んでいます。  
25:22 神よ。イスラエルを、そのすべての苦しみから贖い出してください。

「敵」という大きな問題が立ちふさがり、主の助けを求めつつ信頼している歌です。そのような中で、詩人は主の道を求めてみこころにかなう者になりたいと願っています。また「若い時の罪」を「覚えていないでください。」と、自分の罪に気づきつつその赦しを求めています。  
このように主の助けを本気で乞うなら、主の前の自分のあり方を省みるものです。またそうでなければ全く自分勝手と言わざるを得ません。

「主はご自身を恐れる者と親しくされ、ご自身の契約を彼らにお知らせになる。」という希望があります。自分の信仰を省みつつ、主の助けを願いましょう

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



### 26 ダビデによる

26:1 私を弁護してください。主よ。私が誠実に歩み、よろめくことなく、主に信頼したことを。

26:2 主よ。私を調べ、私を試みてください。私の思いと私の心をためしてください。

26:3 あなたの恵みが私の目の前にあり、私はあなたの真理のうちを歩み続けました。

26:4 私は、不信実な人とともにすわらず、偽善者とともに行きません。

26:5 私は、悪を行なう者の集まりを憎み、悪者とともにはずわりません。

26:6 主よ。私は手を洗ってきよくし、あなたの祭壇の回りを歩きましょう。

26:7 感謝の声を聞こえさせ、あなたの奇しみわざを余すことなく、語り上げましょう。

26:8 主よ。私は、あなたのおられる家と、あなたの栄光の住まう所を愛します。

26:9 どうか私のたましいを罪人とともに、また、私のいのちを血を流す人々とともに、取り集めないでください。

26:10 彼らの両手には放らつがあり、彼らの右の手はわいろで満ちています。

26:11 しかし、私は、誠実に歩みます。どうか私を贖い出し、私をあわれんでください。

26:12 私の足は平らな所に立っています。私は、数々の集まりの中で、主をほめたたえましょう。

心に罪のない人は、苦しみにあっても、確信を持って大胆に主に求めることができます。しかしながら聖書では、謙遜になって罪を認めることを教えていますし、ダビデ自身がそのように謙遜でもあり



ました。どう理解したら良いでしょうか。

これはダビデがサウルから命を狙われているときの歌と思われます。ダビデはサウルから全くの言いがかりで、責められ殺されそうになるのですが、彼はサウルに対してさえ、そうであることを尊重し、手をかけることをしませんでした。

ここダビデの無罪の確信があると思われます。つまり、自分が命を狙われているという、このサウルとの関係においては、神様から責められるようなことはないということではないでしょうか。

私たちも全く罪はないなどということではできません。しかし、だからといって、どうせ自分は神様に祈りは聞いてもらえない。いまさら従っても無駄だとは思わずに、自分が今関わっている問題に対しては、正しくありたいという願いを持つことが大切なのではないでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



# 1日 金曜

## 詩篇

### 27 ダビデによる

27:1 主は、私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。主は、私のいのちのとりで。だれを私はこわがらう。

27:2 悪を行なう者が私の肉を食らおうと、私に襲いかかったとき、私の仇、私の敵、彼らはつまずき、倒れた。

27:3 たとい、私に向かって陣営が張られても、私の心は恐れない。たとい、戦いが私に向かって起こっても、それにも、私は動じない。

27:4 私は一つのことを主に願った。私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。

27:5 それは、主が、悩みの日に私を隠れ場に隠し、その幕屋のひそかな所に私をかきまい、岩の上に私を上げてくださるからだ。

27:6 今、私のかしらは、私を取り囲む敵の上に高く上げられる。私は、その幕屋で、喜びのいけにえをささげ、歌うたい、主に、ほめ歌を歌おう。

27:7 聞いてください。主よ。私の呼ぶこの声を。私をあわれみ、私に答えてください。

27:8 あなたに代わって、私の心は申します。「わたしの顔を、慕い求めよ。」と。主よ。あなたの御顔を私は慕い求めます。

27:9 どうか、御顔を私に隠さないでください。あなたのしもべを、怒って、押しのけないでください。あなたは私の助けです。私を見放さないでください。見捨てないでください。私の救いの神。



27:10 私の父、私の母が、私を見捨てるときは、主が私を取り上げてくださる。

27:11 主よ。あなたの道を私に教えてください。私を待ち伏せている者どもがおりますから、私を平らな小道に導いてください。

27:12 私を、私の仇の意のままに、させないでください。偽りの証人どもが私に立ち向かい、暴言を吐いているのです。

27:13 ああ、私に、生ける者の地で主のいづくしみを見ることが信じられなかったなら。・・

27:14 待ち望め。主を。雄々しくあれ。心を強くせよ。待ち望め。主を。

詩人の主に対する信頼は、強固で揺るぎないものです。ですから苦難の時に主により頼むことができたのです。詩篇には様々な歌がありますが、見落としてならないのは、どれも主に向かっていくということです。

私たちはどうでしょうか。人に向かって愚痴や弱音をほき、人に対して願い求め、人をあてにしてはいないでしょうか。どんな思いでも願いでも、まず主に心向けましょう。そこから本当に解決が生まれます。

そのように主に信頼する詩人は、一番の願いとして「私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける」ことを求めました。これは究極的には天国そのものです。地上にあっても天の喜びを味わうことができるのです。そしてそれは勝利の最終的な結果です。

主に向かって歌い、主の麗しさを喜び楽しみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



#### 28 ダビデによる

28:1 主よ。私はあなたに呼びわります。私の岩よ。どうか私に耳を閉じないでください。私に口をつぐまれて、私が、穴に下る者と同じにされないように。

28:2 私の願いの声を聞いてください。私があなたに助けを叫び求めるとき。私の手をあなたの聖所の奥に向けて上げるとき。

28:3 どうか、悪者どもや不法を行なう者どもといっしょに、私をかたづけしないでください。彼らは隣人と平和を語りながら、その心には悪があるのです。

28:4 彼らのすることと、彼らの行なう悪にしたがって、彼らに報いてください。その手のしわざにしたがって彼らに報い、その仕打ちに報復してください。

28:5 彼らは、主のなさることもその御手のわざをも悟らないので、主は、彼らを打ちこわし、建て直さない。

28:6 ほむべきかな。主。まことに主は私の願いの声を聞かれた。

28:7 主は私の力、私の盾。私の心は主に拠り頼み、私は助けられた。それゆえ私の心はこおどりして喜び、私は歌をもって、主に感謝しよう。

28:8 主は、彼らの力。主は、その油そそがれた者の、救いのとりで。

28:9 どうか、御民を救ってください。あなたのものである民を祝福してください。どうか彼らの羊飼いとなって、いつまでも、彼らを携えて行ってください。

私をかたづけしないでください。」とあります。悪者は自分を偽るので、善良な人と区別がつきにくいものです。自分自身が同じものと見られるのは辛いを感じる人も多いでしょう。しかし、主は人の内面を御存知です。

人からは誤解されたり先入観で見られても、主は私たちの信仰と正直さを見てくださいますから、くさらないで自分の信じた道を行きましょう。

そしてダビデは「ほむべきかな…」と、祈りが聞かれたことを確信して、しゅをほめたたえています。祈りによって、将来が確信できるのです。そこではストレスがなくなり、希望がわき、そして喜びに満たされます。信仰が与えられるまで祈りましょう。祈りを途中でやめてしまいますなら、祈りは聞かれずにストレスや不安になるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



29 ダビデの賛歌

29:1 力ある者の子らよ。主に帰せよ。栄光と力とを主に帰せよ。  
29:2 御名の栄光を、主に帰せよ。聖なる飾り物を着けて主にひれ伏せ。  
29:3 主の声は、水の上にあり、栄光の神は、雷鳴を響かせる。主は、大水の上にあります。  
29:4 主の声は、力強く、主の声は、威厳がある。  
29:5 主の声は、杉の木を引き裂く。まことに、主はレバノンの杉の木を打ち砕く。  
29:6 主は、それらを、子牛のように、はねさせる。レバノンとシルヨン若い野牛のように。  
29:7 主の声は、火の炎を、ひらめかせる。  
29:8 主の声は、荒野をゆすぶり、主は、カデシュの荒野を、ゆすぶられる。  
29:9 主の声は、雌鹿に産みの苦しみをさせ、大森林を裸にする。その宮で、すべてのものが、「栄光。」と言う。  
29:10 主は、大洪水のときに御座に着かれた。まことに、主は、とこしえに王として御座に着いておられる。  
29:11 主は、ご自身の民に力をお与えになる。主は、平安をもって、ご自身の民を祝福される。

主の御声の偉大な力を歌っています。主の声は雷鳴のように恐るべきエネルギーを持っているというのが、詩人の表現です。その力は破壊的ともいえるほどです。誰もがその御声の前にはひれ伏さずにはいられません。

しかし一方、主はその力を「ご自身の民に」お与

えになるということです。驚くべきことです。私たちはそのような「栄光」を主から受けているのです。そのような自己像を持ちましょう。私たちは神の子であるという栄誉のゆえに、全宇宙的な主の権威にあずかっているのです。

大胆に生きましょう。確信を持ちましょう。もっとスケールの大きな考え方をしましょう。永遠の尺度でものごとを考えましょう。世界に目を向けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

